

人生の流轉は明日を定め得る
程不可思議なものである。時田はシカゴにいた時、ソニア宛に年賀状を出したが、数へられた住所が違つたものか、それとも移住したのか、先方からの音信は皆無だ。多分ソニアはナコア・クロイエと結婚したのであらう、そして優しいソニアの意に温い家庭を作り、ストーヴに燃ゆるかわいい音を聞き下で暖きまじさな語をつてゐるだらう。天使のやうなソニア、ベニアミンが妻をしたナコアこそ運の幸運である。時田はさう想はずにはゐられなかつた。そして遂に祝福を願つた、自分の姉妹が嫁いでゆく時の心持で祈つた。

そこは、リバーバギュニヨークシンク街に建てられた世界最大のアパートメントストアードで云ふ天使のやうなソニア、ベニアミンが妻をしたナコアこそ運の幸運である。時田は紛れもなく彼の心持で、彼の手に足を運んでモスコーの大模型や、露西亞人に心ゆくば止まつて「自分の國へ歸つたやうだわ」とでも云ふのかガヤーと呼んでいた。時田は帽子の下から這入つて來た、何よりも目立つて見れる巨體の模型の傍らに立ち、その手に持つてゐるソニアのスノーキートに包まれた田舎の娘の像を眺めてゐたが、思はれる鳥瞰圖などを見てゐた。時田は娘の下から注意深い視線をその群の一人一人に向けた、その群がロシア人種であることを確証めたそれで一

* 短歌 (一人五首以内)
* 短篇小説 (一枚十五字詰二十行、三十枚内外、一人一篇)
* 詩 (一人一篇長短隨意)
* 懸賞文藝作品應募規定

女達を明日を忘れる

以上何れも未發表の創作たる事。紙上匿名者なるも本名仕所は必ず明記ありたりし宛名は「伯爵西園時事報編輯部」
もし然貧原稿・詩稿・小説等は「大作家」の道男の三
して扱ひます。原稿はすべて返送しません。當選作に關する一切の權利は本社に屬します。

當選者氏名發表は六月中旬

逃れようとする

カショエイラ
牛糞星潤野菜畑の背みにのぞく熟れすぎた
豆子美し雨晴れの朝

呼びながら

アラクリ 小川碧水

コロニヤの赤き屋根かな
伸びてさまりし袖の下枝葉の散り

よみがへりし細歩みつ、久方に心

晴れけり空の色がな

一望の緑衣つまりし糸のこと長き

夢にさびしも夏だけねらこ

手早く其小供を抱き上げて母親

の所へ行きこれあなた子を挨拶

なぬきに尋ねた、するさ女は小供

に手を振つゝ、ねうそですか

りがたう、そして貴方はどなた

の所へ行きましたか?

時田は女の聲の

垂れたまほ四度の干からびし

垂れたまほ四度の干からびし

時田は日頃ミレーの『暗黙』のモチーフだつて? 一體どうした云ふので

す?

時田は日頃ミレーの『暗黙』のモチーフだ



探偵小説

金髮魔

(松村彦秀画)



【白六】

六甲山へ【六】

遠藤翠長は、然らばなぜスミスの捕縛を受けたかを知りながら、それを捨て、逃走したのか、それとも、誰かの如く、山こりりして飲食の物を喫す、勤めたかと問ふ。彼は平氣な顔で答へた。自分はアメリカ出身の印度人であるが、友人のポンペイにゐるをたよつて祖国印度へ歸つた事があつて、三年餘も印度の未開地にくらしたのは、芝居石上警察署から放還されで、豈半活はみづらしくない、また、朝鮮半島はみづらしくない、また、スミスの調べも大分明し見せなかつた、そしてすぐ次の

六甲山へ

【六】

スミスは何等疑ひはない、放免すべきである」

遂に折角重大容疑者とした男女は、芝居石上警察署から放還され

國送還となつた今だ

アホー達は相親の醜いといふだけで、何等犯罪に根柢のないス

母が惨殺され後、行方不明のアホー達も同伴者のアメリ

カインデアンの容疑は晴れて本

かけてすみません、だが僕アホー達も印度の事件は、ひさり憎恨して言つた

「スミスは何か悪い人間であります」

「それだけ又秘密にせんけりやな

「さうぢやないです、僕が望んで

「へえ、なアに……」

「……だが咲子さん僕あなたに一

つ願つて大事があります」

「え、なアに……」

「それがね、咲子さん僕あなたに一

つ願つて大事があります」

「え、なアに……」